

回復期リハビリテーション情報

I. 退棟患者数 （対象期間： R7年 7月 ～ R7年 9月）

①	回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数	52	名
②	①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	51	名

	上 記 ② の 患 者 の 内 訳	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血（シャント術後）、脳腫瘍 脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発神経炎、多発硬化症、腕神経叢損傷等の 発症後 若しくは 手術後の状態 又は 義肢装着訓練を要する状態	20	39.2%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 若しくは膝関節の骨折 又は 2肢以上の 多発骨折の発症後 又は 手術後の状態	27	52.9%
3	外科手術 又は 肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており 手術後 又は 発症後の状態	2	3.9%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0	0.0%
5	股関節 又は 膝関節の置換術後の状態	2	3.9%

9月の1人当たりの提供単位数（1日あたり）	9月の重症患者数割合
7.92単位	57.9%

II. 実績指数（前月までの6ヶ月間）各年度4月、7月、10月、1月に算出

③	実績指数（⑤/⑥）	52.6	点
④	実績指数の計算対象とした患者数	81	名
⑤	④の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和	2740	点
⑥	⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた 回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和	52.07	

実績指数

=

⑤ FIM運動項目の得点

退棟時 — 入棟時（対象患者の合計）

⑥ 在棟日数 ÷ 入棟時の状態での算定上限日数（対象患者の合計）